



きらきら Eye ランド

JA 庄内みどり

安全・安心をお届けいたします

## グリーンプロジェクト情報 第8号

発行：庄内みどり農業協同組合  
協力：酒田農業技術普及課

### 生育は遅れ気味で葉色が濃い！ 今年の穂肥診断は慎重に！

6月30日現在、草丈は平年並みからやや短めで茎数はやや少ないものの、目標茎数はほぼ確保されています。また葉齢はやや遅れ気味で進展し、葉色は濃く推移しています。作溝・中干しの徹底により穂肥ができる稲姿に仕上げましょう。

圃場により生育のバラつきがあるため、穂肥時期・施肥量を判断するには稲の生育を正確に診断・把握することが重要です。

また、これからは葉いもちや斑点米カメムシ類、大豆では食葉性害虫やアブラムシ等が発生する時期となります。草刈りの徹底を図り、病虫害発生未然防止に心がけましょう。

◎現在の生育状況（6月30日現在の作柄診断圃データ）（ ）内は平年対比  
つくばSD2号については、JA作況圃データ（ ）内は指標対比

品 種	草 丈	茎 数	葉 齢	葉色 (SPAD)
は え ぬ き	43.3 cm ( 94)	645 本/m <sup>2</sup> ( 98)	9.0 ( -0.3)	45.0 ( +4.8)
ひとめぼれ	41.5 cm ( 87)	538 本/m <sup>2</sup> ( 96)	8.6 ( -0.6)	41.0 ( +1.3)
つ や 姫	36.6 cm ( 79)	483 本/m <sup>2</sup> ( 90)	8.3 ( -0.9)	43.3 ( +1.5)
つくばSD2号	37.6 cm ( 84)	681 本/m <sup>2</sup> (108)	9.0 ( -0.4)	43.8 ( +0.3)

◎6月30日現在の土壌アンモニウム態窒素残存量

土壌残存アンモニウム態窒素は、稲の生育に伴ってほぼ平年並みに低下してきています。引き続き中干しを徹底し土壌の窒素の低下を図りましょう。

今年の葉齢の進展はやや遅れています。今後の穂肥作業は生育診断に基づき、適正に行いましょう。

#### 技、其の一 作溝・中干しの徹底を！

今年は、低温・日照不足による生育の遅れによって中干し時期が遅れていることとその後の断続的な降雨により、中干しがまだ不十分な圃場が見受けられます。暗渠排水を利用し、穂肥までにはぬからない程度となるよう、中干しの徹底が重要です。ただし、目標茎数を確保できていない場合は足跡がつく程度（弱め）にとどめましょう。

幼穂形成期から穂揃期にかけては水分と酸素を最も多く必要とします。中干し後は、走り水により徐々に慣らし、出穂前まで間断灌水（2日湛水2日落水）を続けましょう。用水不足時の対応と間断灌水を効率的に行なう為にも、仕上げ作溝は早期に行いましょう。

#### 技、其の二 カメムシ対策はこまめな草刈りで！

カメムシ類の増殖を抑えるため「こまめな草刈り」と「圃場内の雑草（ヒエ、ホタルイ等）の除去」を徹底し、地域ぐるみで発生密度の低減を図ることが重要です。草刈りは8月上旬の無人ヘリ防除の直前までに終わるようにしましょう。その後、8月中の草刈りは行わないようにしましょう。

☆葉いもちの発生に注意！！

今後の天候次第では発生する恐れがありますので、葉色が濃いところや、昨年発生した圃場では注意深く観察し発生が確認されたら最寄営農課へご相談ください。

#### 技、其の三 予想出穂期(6月30日現在)

☆今年の出穂期は、“平年に比べ3日程度遅く”なると予想しています。

どまんなか	ひとめぼれ	はえぬき	つや姫(コヒカリ)	つくばSD2号
8/2~	8/7~	8/7~	8/13~	8/14~

#### 技、其の四 穂肥は的確な生育診断で適期に適量を！

穂肥が適期にできる稲の条件は①葉色が低下している②葉伸びしていない③茎数がすっきりしていることです。（下表参考）

つや姫の穂肥については、今後の天候や中干しの状況次第では、タンパク値の上昇により「Bつや」の発生が懸念されます。一発肥料を使用している圃場以外では、化成のみの高地力タイプでの穂肥も検討しましょう。

品 種	葉色	草丈 (cm)	茎 数 (本/m <sup>2</sup> )	穂肥対応 (N成分kg/10a)					
				-30日	-25日	-20日	-18日	-15日	-10日
はえぬき	4.8	60	630以下		2.0		(1.0)		
はえぬき(低地力)				2.0		1.0~1.5			
ひとめぼれ	4.5	60以下	630以下			1.5			(1.0)
どまんなか	4.5	63以下	630以下		2.0				
コシヒカリ	4.0	78以下	450以下						1.5
つや姫	4.8	60	550以下	1.5		みどり特裁穂肥028号			
つや姫(高地力)					1.2	庄内穂肥専用545, NK50号 らくらく522			

※（ ）内の数値は、穂肥施用後に葉色が維持できない場合は実施する。

※葉色板(フジカラースケール)と葉緑素計 (SPAD) の換算値 (目安)

{(SPAD値)+10} ÷ 10 = 葉色板の値 (例) (38+10) ÷ 10 = 4.8 ← 葉色板の値

#### 技、其の五 葉色が濃い稲への対応！

はえぬき (11.0 葉期) 出穂前25日の葉色	5.0以上⇒ N成分1.0kg/10aに減肥して施用する。ただし(4.0以上) 葉色5.5以上の場合、穂肥は行わない。(ケイ酸追肥のみ)
ひとめぼれ (11.5 葉期) 出穂前20日の葉色	4.8以上⇒ 葉色低下を待って対応、ただし出穂前10日になっても(3.8以上) 葉色が濃ければ穂肥は行わない。(ケイ酸追肥のみ)
つや姫 (10.5 葉期) 出穂前30日の葉色	4.9~5.1⇒ N成分1.0kg/10aに減肥して施用する。(3.9~4.1) 5.2以上⇒ 25日前までに適正葉色まで低下しない場合、穂肥は(4.2以上) 行わない。(ケイ酸追肥のみ)

## 技、其の六 倒伏軽減対策！

生育が過剰となり倒伏が懸念される場合には、倒伏軽減剤を使用します。

### ○ひとめぼれ

稈長82cm以上となり、倒伏が懸念される出穂20日前（11.5葉期）の稲姿

草丈 (cm)	葉色	生育量 (cm×本/m <sup>2</sup> )	1株当たり本数 (70株植え)
65	5.0	40,000	30本以上

### ◆使用薬剤

薬剤名	使用時期	散布量	備考
ロミカ粒剤	出穂前25～10日	2～3kg/10a	上位節間伸長抑制
スマレクト粒剤	出穂前20～7日	2～3kg/10a	

※特別栽培米は、倒伏軽減剤及び倒伏軽減剤入り肥料は使用できませんのでご注意ください。

※スマレクト粒剤の重複散布や多量散布は、後作物や次年度の作物に影響する場合がありますので使用量に注意しましょう。

※穂肥が行えない圃場には、ケイ酸資材を使用しましょう。

### <直播情報>

◎湛水直播(鉄コーティング直播)で茎数不足の圃場では、つなぎ肥や浅水管理で引き続き茎数確保に努め、遅くとも**9葉期(7月中旬)まで**には中干しに入りましょう。根張りを良くし、耐倒伏性を高めるためにも必ず実施して下さい。

### <大豆情報>

◎降雨時は、こまめに圃場を見回り、早期に明渠の手直しなどを実施し、停滞水の排水に努めましょう。大豆の根を湿害から守るため、できるだけ速やかな排水対策を行ないましょう。

◎天候に合わせ、**培土**を遅れずに実施しましょう。**(雑草対策も！)**

◎食葉性害虫やアブラムシ類の発生が心配されます。高温・乾燥で発生が急増した過去の例もありますので、圃場・生育観察で早期発見・被害防止に努めましょう。

### <農薬飛散防止対策について>

残留農薬等のポジティブリスト制度に伴い、粉剤等で防除を実施する場合には、周辺の園芸作物の種類、収穫時期等を事前に把握し、農薬の飛散防止・低減対策を確実に行ないましょう。特に農薬散布時には、風速・風向に注意して下さい。

しっかり育てよう！庄内みどりのつや姫



「しっかり中干し」で、穂肥のできる稲姿に仕上げよう！

●穂肥時期は7月14日前後になりそうです。遅れずに穂肥ができるように準備しましょう。

●葉色の濃いつや姫には、適期適量の穂肥施用ができません。茎数が多い・葉色が濃いほ場では、やや強めの中干しを継続しましょう。

## 園芸情報

### 【長ネギ 夏まき春取り露地栽培 (春ネギ)】

定植後の管理とポイント

春ねぎは、需要も高く販売価格についても安定価格で推移しています。しかし、従来の秋冬ねぎ栽培と比較して栽培期間が長く収穫期間は短い事もあり面積の拡大に結びついていないのが現状となっています。

春ねぎ栽培のポイントを以下に記載しますので参考下さい。

#### ○使用品種

一般的に晩抽性品種を使用します。(羽緑一本太葱など)

【羽緑一本太の場合】※品種によって作業時期が若干変動します。

#### § 播種時期

5月下旬～6月下旬頃(育苗期間が高温時期の為に温度の上り過ぎ・乾燥に注意)に行います。

#### § 定植時期

8月上旬頃までに行います。



抽苔前に収穫しましょう！

#### § 収穫時期

翌年4月中下旬に収穫を迎えます。

#### ○管理のポイント

羽緑は伸びやすい品種である為、「早過ぎず深過ぎず」の土寄せ管理を行います。(長ねぎは土寄せを行うと伸びる性質があります)

翌年4月収穫は前年の葉が商品になります。葉を綺麗に管理しましょう。また5月収穫はべと病が出やすい時期になる為に早めの予防防除の徹底を行います。

晩抽性品種とはいえ抽苔はするので、それまで仕上げて計画収穫を行いましょ。肥料切れは抽苔を早めます。健全な根で良好な生育を心がけましょ。

一番のポイントは冬越しに入るまで全体の7割～8割の生育を確保ましょ。(土寄せを計3回行いますが冬まで2回行っておく等)

#### ○抽苔(ネギ坊主発生)時期の予測

収穫が近づいた頃4月から複数回ネギを試し掘りし、包丁で縦に切ってみてネギ坊主の上に何枚葉があるか確認ましょ。1枚展開するのに7日～10日かかります。葉が2枚あれば14日～20日、3枚あれば21日～30日かけて葉が展開してネギ坊主が出てきます。したがって、その前に収穫を終える必要があります。

★次号の発行は7月20日です！